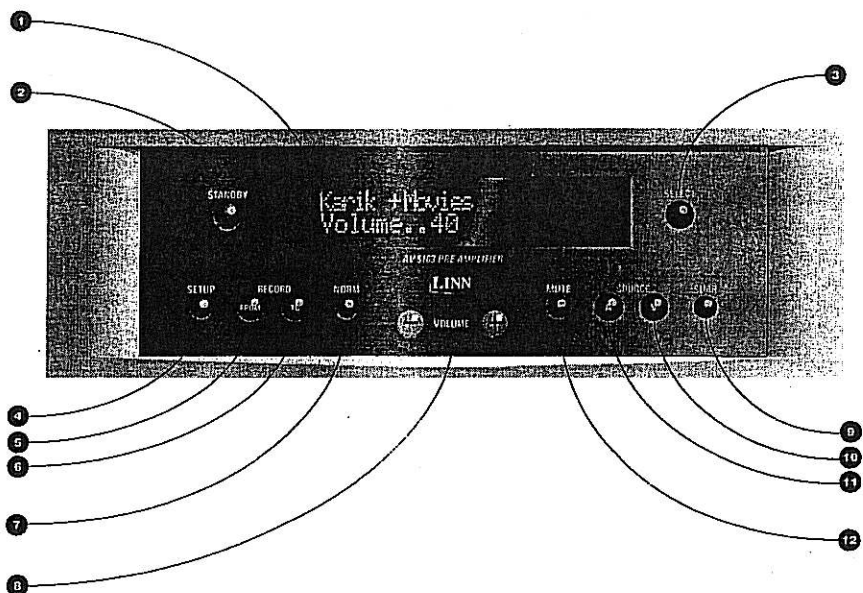
LINN　システムコントローラー AV 5103 取扱説明書

AV 5103 はフロントパネルのボタン、あるいはリモコンを用いて操作します。

AV 5103 フロントパネル(Front panel)

【各部の名称および機能】

１．ディスプレイ (Display)：視聴中の音声入力およびビデオ入力と再生音量を２行に分けて表示。

2.スタンバイ (STANDBY)：スタンバイ状態への切替え、あるいはスタンバイ状態からの立ち上げボタン。

3.セレクト (SELECT)：スピーカー左右バランスおよびレベル調整モード切替えボタン。セットアップ時にはメニューオプション指定ボタンとしても機能。

4．セットアップ (SETUP)：システムコントローラーを設定する主要メニュー表示呼び出しボタン。

5．レコード・フロム (RECORD FROM)：録音、録画したい(送り出し側)機器選択ボタン。

6．レコード・トゥー (RECORD TO)：録音、録画する(受け側)機器選択ボタン。

7．ノーマライズ (NORM)：音量およびバランスの標準化ボタン。(音量表示４０、センターポジション)

8．ボリューム －、＋ (VOLUME － and ＋)：音量の増減、ディスプレイ表示機器切替えボタン。セットアップ時にはメニューオプション選択ボタンとしても機能。

9．サラウンド (SURR)：サラウンド再生モード表示ボタン。モード切替えは－、＋ ボタンを併用して行います。

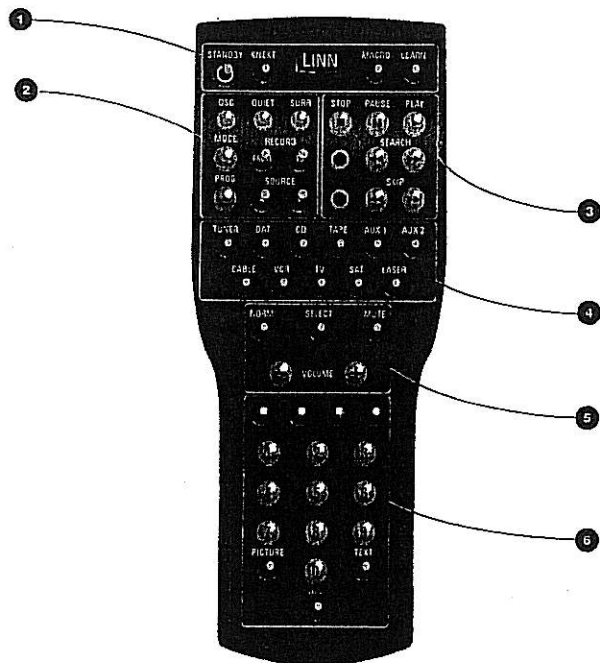
１０．ソース・V (SOURCE V)：再生中のビデオソース表示ボタン。接続機器切替えは－、＋ ボタンを併用して行います。

１１．ソース・A (SOURCE A)：再生中のオーディオソース表示ボタン。接続機器切替えは－、＋ ボタンを併用して行います。

１２．ミュート (MUTE)：一時的に消音したり、また、復帰させるボタン。

AV 5101 パーソナルハンドセット(リモコン)

【リモコン上のボタンの名称と機能】

AV 5103 のフロントパネルボタンと対応していますので、同じボタンの名称と機能については前項目をご参照下さい。

1. スタンバイ (STANDBY)：スタンバイ状態への切替え、あるいはスタンバイ状態からの立ち上げボタン。
2. AV システム機能(AV System functions)
   OSG：ディスプレイ表示内容をモニター画面へ出力させるボタン。
   QUIET：ミッドナイトムービー・モード選択ボタン。(AC-3 再生時のみ)
   SURR：サラウンド・モード選択ボタン。
   MODE：現在未使用。
   RECORD FROM：録音(画)ソース機器選択ボタン。
   RECORD TO：録音(画)機器選択ボタン。
   PROG：プログラムされた音声と映像の組み合わせを呼び出すボタン。
3. 学習機能付き入力ソース操作ボタン部(Programmable source control keys)：各機器のリモコン信号を覚えさせてリモコン操作するボタン。
4. オーディオ／ビデオ機器選択ボタン部(Audio/Video source select keys)：プログラムされた音声/ビデオ機器指定ボタン。
5. 音量とスピーカーバランスボタン部(Volume and speaker balance keys)
   NORM：音量とバランスの標準化。
   SELECT：レベルおよびバランス調整ボタン。
   MUTE：一時消音、復帰ボタン。
   VOLUME － and ＋：音量調節、あるいはディスプレイ表示機器切替えボタン。
6. 学習機能付き数字ボタン部(Programmable numerik keys)：入力ソース操作機能を拡張するボタン。

ディスプレイ表示(What the displays show)

ディスプレイは現在再生中の音声と映像ソースを表示します。また、併せて操作状態の表示も行います。

(例)　Karik + Movies
　　　Volume..40

モニター画面上表示(On Screen Graphics Display = OSG)(モニター接続時のみ)

再生中の映像に重ねて、操作している情報を表示します。

(例)　◁Volume
　　　||||||||||||||||--------

表示は初期設定により4秒間挿入されます。表示時間や、画面上の表示位置はお使いいただきやすいように設定変更できます。

電源のオン/オフ(Switching on and off)

AV 5103 のリアパネルのメインスイッチは、通常は投入した状態にしておかれることをお勧めします。リモコンあるいはフロントパネルのボタン操作で本体の電源のオン/オフができます。スタンバイ時の電力消費は極くわずかです。

スタンバイ状態からシステムコントローラーを立ち上げるには

⊙フロントパネルあるいはリモコンの STANDBY ボタンを押します。
スタンバイ状態にする直前の入力ソースを選択し、通常は音量表示 40 にて動作状態に入ります。
なお、セットアップメニューを開いて、設定音量を変更することができます。(後項参照)

スタンバイ状態にするには

⊙フロントパネルあるいはリモコンの STANDBY ボタンを押します。

音量の調節(Changing the volume)

再生音量は、フロントパネルのディスプレイに 0 から 100 までの数字で、モニター画面にはバーグラフで表示されます。
表示の目安はつぎの通りです。0 は無音状態、40 は中音量再生、70 は典型的な映画視聴レベルです。

音量を調節するには

⊙フロントパネルあるいはリモコンの －または＋VOLUME ボタンを押します。
音量を変化させるとフロントパネルに数字が表示されます。また、モニター画面上には次のように表示されます。

(例)　◁Volume
　　　||||||||||||||||--------

一時的に消音するには

⊙フロントパネルあるいはリモコンの MUTE ボタンを押します。

フロントパネルには次のように表示されます。

(例)　Karik
　　　Volume..Muted

モニター画面上には次のように表示されます。

(例)　×◁

音量を元に戻すには、もう一度 MUTE ボタンを押すか、－または＋VOLUME ボタンを押します。

チャンネル間のレベル調節(Changing the position of the sound)

一般のステレオ再生をお楽しみいただく際、メインチャンネル左右の音量バランスを調節できます。またサラウンド再生においては、フロント左右のバランスはもとより、リア、センター、サブウーファーの音量をそれぞれ独立して調節できます。

レベルを調節するには

⊙フロントパネルあるいはリモコンの SELECT ボタンを調節したい項目が表示されるまで押します。

選択できる項目は次の通りです。

表示	内容
Rear(リア)	リアスピーカーのレベル調節
Centre(センター)	センタースピーカーのレベル調節
Sub(サブ)	サブウーファーのレベル調節
Balance(バランス)	フロント左右スピーカーのバランス調節

Stereo あるいは Stereo Sub モードのサラウンド再生時にはリアスピーカーおよびセンタースピーカーのレベル調節はできませんのでご注意下さい。

現在のレベル状態のディスプレイ表示例。

(例)　Karik
　　　Balance..-5

モニター画面上ではレベル状態を視覚的に表示します。

(例)　▷◁Balance
　　　------▷◁-------

この状態で VOLUME －または+ボタンを押してパラメーターを調整します。

音楽を再生しながら変化を聴感上で確認できます。

ディスプレイ表示は数秒後に音量表示に戻ります。

調整中の入力ソースを標準設定に戻すには
⊙フロントパネルあるいはリモコンのNORMボタンを押します。
フロントパネル表示が次のように変ります。

(例)　Karik
　　　Normalising

モニター画面上では次のように表示されます。
　　　><

NORMボタンを押すことで標準設定にリセットされました。音量40、センター復帰の状態です。
なお、セットアップメニューを開いて、設定音量を変更することができます。(後項参照)

再生したいプログラムソースの選択(Choosing what to watch or listen to)

オーディオ/ビデオ機器はそれぞれ名称あるいは型番を持っています。システムコントローラーAV 5140のセットアップの際には文字によって登録設定できます(6桁表示まで)。さらに、以下に挙げるリモコン上の１１種類のオーディオ/ビデオ機器ボタンのいずれかに、プログラムソースを割り当てることもできます。

リモコン上のオーディオ/ビデオ機器ボタンは、TUNER, DAT, CD, TAPE, AUX1, AUX2, CABLE, VCR, TV, SAT, LASER の１１タイプ。

プログラムされたソースを選ぶには
⊙リモコンのPROG(プログラム)ボタンを押した後、再生したいオーディオ/ビデオ機器のボタンを押します。

例えば、VCRボタンにMovies(ムービー)と登録設定されているソースを選ぶには、PROG,VCRの順にボタンを押します。
ディスプレイ表示およびOSGは次のように入力ソースの登録名称を表示します。

(例)　Karik
　　　Direct..Movies

ビデオソースとオーディオソースを連動して登録してあるときには、ビデオ機器の選択をすれば自動的に音声も切り替わります。例えば、VCRボタンは通常VCRの音声を選択するようにセットアップします。

オーディオ/ビデオ機器ボタンに割り当てた別の入力ソースが有る場合は、再生したいプログラムソースの登録名称が表示されるまでオーディオ/ビデオ機器ボタンを押し続けます。再生したいソースを確認してボタンを離し、プログラムソースを選択します。

異なるソースの映像と音声を再生するには

映像を楽しみながらそれとは別の音声を再生したいことが有ります。例えば、テレビでスポーツ観戦をしながらコンパクトディスクを楽しむこともできます。

⊙フロントパネルあるいはリモコンの SOURCE A ボタンを押します。
ディスプレイには現在再生しているオーディオソースが表示されます。

(例)　TV
　　　Audio..TV

⊙VOLUME －または+ボタンを使ってオーディオソース表示を切り替えるか、リモコンのオーディオ/ビデオ機器ボタンを使ってオーディオソースを選択します。

例えば、Karik と名称登録されているオーディオソースがある場合は次のように表示されます。

(例)　TV
　　　Audio..Karik

⊙再生したいソースを確認してボタンを離し、プログラムソースを選択します。

SOURCE V ボタンを用いて、ビデオソースも同様にして切り替えることができます。

異なるソースの音声と映像を再生している場合には、入力ソースの登録名称がオーディオ+ビデオ機器の順で表示されます。

(例)　Karik + TV
　　　Volume..42

入力ソースに No Source を選択して、音声あるいは映像を消すこともできます。

ビデオソースとオーディオソースを連動して登録してあるときには、登録したソースの名称のみが表示されます。

(例)　Movies
　　　Volume..56

サラウンドオプションおよびミッドナイトムービーモード(Choosing the surround option or Midnight Movie mode)

プログラムソースには最良の再生が行えるようにサラウンドモードの指定がありますが、その他のサラウンドの効果を試したり、お好みの再生音が得られるようにモードを変えることができます。

サラウンドオプションを変えるには

⊙フロントパネルあるいはリモコンの SURR(サラウンド)ボタンを押します。
再生中のサラウンドモードが表示されます。

⊙VOLUME －または＋ボタンを押してモードを切り替えます。

⊙再生したいモードを確認してボタンを離します。

４秒後、サラウンドモード表示から音量表示に戻ります。
サラウンドモードの表示と内容は次の通りです。

サラウンドオプション	内容
Stereo(ステレオ)	ステレオ。フロントの左右２チャンネルのスピーカーのみ使用。
Stereo Sub(ステレオ・サブ)	ステレオ+サブウーファー。フロント２チャンネルにサブウーファーを追加。
Pro Logic(プロ・ロジック)	ドルビープロロジック。スピーカー５本(フロント２本、センター、リア２本)によるサラウンド。サブウーファーの使用も可能。
PL Phant(PL ファントム)	プロロジックファントムモード。センターチャンネルの無いプロロジックサラウンド。
PL 3Ster(PL3 ステレオ)	プロロジック３ステレオモード。リアチャンネルの無いプロロジックサラウンド。
As Mix(アズミックス)	ドルビーデジタル、フル AC-3 サラウンド。(5 チャンネル+サブウーファー)
Phantom(ファントム)	AC-3 ファントムモード。AC-3 のセンターチャンネルをフロント左右に振り分けるモード。(センター無し AC-3)
3 Stereo(３ステレオ)	AC-3 ステレオモード。AC-3 のリアチャンネルをフロント左右に振り分けるモード。(リア無し AC-3)

再生可能なモードは、プログラムソース、ソースに記録されたサラウンドの方式、スピーカー配置等によって制限されることが有りますので、ご注意下さい。

ミッドナイトムービーモードを選択するには
⊙リモコンの QUIET(クワイエット)ボタンを押してください。

このモードは、AC-3 音声記録ソフトのみに対して有効です。大音響場面の音量を下げ、静かな場面の音量を上げて再生するモードです。文字通り、映画のサウンドトラックを深夜などに小音量再生する場合に極めて効果的です。
また、パーティーなど環境雑音が高めの場所で大音量再生をする必要が有る際にもお使いいただけます。

オーディオ/ビデオソースの録音、録画(Recording audio and video source)

AV 5103 は極めて柔軟な録音(画)機能を備えています。音声入力信号がアナログデジタルのいずれであっても、内蔵の A/D, D/A コンバータを経由して、録音出力としてアナログあるいはデジタル信号を送り出すことができます。
さらに、ビデオ入力もオーディオソースと独立、あるいは連係させて、録画出力することもできます。

録音(ダビング)を始めるには

まず、録音したいソースを決定します。現在視聴中のプログラムソースであれば、以下の２段階を省略することができます。

◎フロントパネルあるいはリモコンの RECORD FROM(レコードフロム)ボタンを押します。
現在再生中のソースの登録名称が表示されます。

```
(例)    Record
        Karik  →......
```

◎必要が有れば、 ーまたは＋ボタンを用いるか、リモコンのオーディオ/ビデオ機器ボタンを使って録音したいソースを選択します。

次にどの機器で録音するかを指定します。
◎フロントパネルあるいはリモコンの RECORD TO(レコードトゥ)ボタンを押します。

◎ ーまたは＋ボタンを用いたり、リモコンのオーディオ/ビデオ機器ボタンを使って録音出力を選択します。

リモコンのオーディオ/ビデオ機器ボタンにおいて、録音出力は TAPE,DAT に、録画出力は VCR,AUX1 にそれぞれ割り当てられています。

録音出力として登録されている名称がディスプレイ表示されます。例えば、録音出力端子に Reel と言う名称を登録してある場合の表示例。

```
(例)    Record
        Karik  →Reel
```

◎再度 RECORD TO ボタンを押して録音経路を確定します。
次のようにディスプレイが変わります。

```
(例)    Record Path Set
        Karik  →*Reel*
```

R の文字がディスプレイ右上コーナーに点灯し録音経路が設定してあることを示しています。

```
(例)    Karik         R
        Volume..42
```

◎他の録音経路も上記の手順で設定します。

録音経路を解除するには

⊙RECORD FROM ボタンを押します。

⊙ーまたは＋ボタンを用いて解除したい録音経路を選択します。

⊙再度 RECORD FROM ボタンを押します。

次のようにディスプレイが変わります。

（例）　Record Path Clear
　　　　Karik →Reel

すべての録音経路を消去するには

⊙RECORD FROM あるいは、RECORD TO ボタンを３秒以上押し続けます。

ディスプレイに次のように表示されます。

（例）　Record Paths Reset

同時に設定できる録音経路に関して

システムコントローラーは４系統の音声出力端子を備えています。３系統はアナログ、１系統はデジタルです。同時に設定できる録音経路は最大４系統です。デジタル出力端子に接続する機器の有無、使用状態によっては、以下のガイドラインの様な制限を受けることがございます。

外付け D/A コンバーターを接続していない場合。

アナログ入力→デジタル出力、デジタル入力→アナログ出力のクロスモード録音のうちいずれか一つのモードが選択できます。

外付け D/A コンバーターを接続し、常時使用している場合。

この場合はクロスモード録音はできません。

外付け D/A コンバーターを接続し、常時は使用せず、内蔵サラウンド機能は休止状態の場合。

クロスモード録音のうちいずれか一つが選択できます。

外付け D/A コンバーターを接続し、常時は使用せず、内蔵サラウンド機能が動作状態の場合。

この場合はクロスモード録音はできません。

適切な録音経路が選択できないときには、次のようなメッセージがディスプレイ表示されます。

（例）　No Outputs Available
　　　　Movies ......

映像機器間のダビングについても、同様にして録画経路を設定して下さい。

なお、録画の際は、S 端子に入力された信号は S 録画端子に、コンポジット端子に入力された信号はコンポジット録画端子にそれぞれ出力されます。